

【医科学教育部】

(24) 24時間利用可能であった図書館（分館）が0時までの利用に制限されたことは大変利用しにくくなった。実験上、深夜にならないと文献をコピーする時間がとれない人も多くいる。再度、何らかの検討を行って欲しい。

<<回答>>

利用が少ないなどの理由により0時までの利用に変更しました。

平成17年度の24時間開館の利用は、時間外特別利用者延べ17,345人のうち、午前0時以降の入館者は157人、1日当たり0.4人でした。

また、退館時の消灯忘れで、無人のまま照明がつけ放しになっているのが日常的に発生して、多くの人に目撃されました。学内各所で研究費や教育費について経費節減に努めている状況から、24時間開館をこのまま続けるのか検討せざるを得なくなり、蔵本分館運営委員会において、午前0時までの利用に短縮することを決定しました。

【栄養生命科学教育部】

(32) 図書館の席数がもう少しあればよいと思います。

<<回答>>

蔵本分館に、座席は297席あります。年間通じてそれほど混み合っているようではありません。定期的にどうしても混み合うときは、荷物などで閲覧机を占有してしまわずに、一人でも多くの方に座っていただけるよう御協力ください。

【保健科学教育部】

(43) 看護の文献、特に海外の雑誌を図書館にもっと置いていただきたい。

<<回答>>

蔵本分館配置の外国雑誌は各部局から拠出しているコアジャーナル経費で賄っています。そのため、どの雑誌を購入するのかは蔵本地区の研究者に対するアンケートによって決定しています。保健科学教育部もアンケート対象となっています。

なお、冊子体と別に電子ジャーナルがありますので、ぜひご利用ください。

(44) 社会人のために図書館への文献申込のアクセスを学外からでも可能にしていきたい。

<<回答>>

文献申込のアクセスはVPN接続することにより自宅からでも可能です。

VPNサービスは、キャンパスネットワーク以外のネットワーク(たとえば、家庭にあるADSLや光によるブロードバンド)に接続されたパソコンを、仮想的に学内のキャンパスネットワークに接続

するサービスです。このサービスを利用すると、キャンパスネットワークのみにアクセスを限定されたサービスを学外からでもアクセスすることができます。

詳しくは高度情報化基盤センター(メール admin@stud.tokushima-u.ac.jp)までご照会下さい。

【保健科学教育部】

(65) 図書館での文献の取り寄せの際に会計事務センターが17:30までなので、時間外でも何らかの方法で取り寄せが可能にしていただければありがたいです。

<<回答>>

他大学等から文献を取り寄せた場合の代金支払いは、本学会計事務センターでの支払いの場合と、郵便局または銀行振込の場合があります。依頼する相手の大学等によって方法が異なりますが、大部分は本学会計事務センターでの支払いとなっており、ご意見のありましたように会計事務センターでの窓口収納時間は17:30までとなっております。文献申込みの際に、郵便局または銀行振込が可能な大学への申込みを指定していただきましたら、そのように対応することも可能です。(ただし、相手大学の資料の所蔵状況により異なる場合があります。)

また、ご自身で国立国会図書館へ個人利用登録することにより、国立国会図書館へ申し込み、自宅へ送ってもらう方法もありますので、詳細については図書館へご相談ください。

(66) 社会人もいるので、文献をもらいに行く事務も、時間外窓口を作って欲しい。

<<回答>>

お支払い自体が時間内に限られる規則となっております。

検討の結果、時間外での対応若しくは時間外窓口の設置については職員の勤務時間の都合上、困難というのが現状です。

【総合科学部】

(88) 附属図書館の閉館時間が日によってまちまちですが、夜遅くまで学習する学生のために(特に総合科学部の3年生以下はいつも利用している施設内に夜間出入りすることができませんので)平日だけでも毎日21時や22時まで開館していただけないのでしょうか。

<<回答>>

18年度からは平日の閉館時刻を1時間延長して、授業期の月～金は22時としました。利用者アンケートによれば、大変よろこばれています。

なお土曜日・日曜日・祝日についても、閉館時刻を一時間延長して17時にしました。

【医学部(保健学科)】

(95) 図書館にもっと本を増やして欲しい。

【歯学部】

(100) 図書館の資料をより新しいものもいれてもらいたい。

<<回答>>

図書のご要望については、ぜひ図書館に内容をお聞かせ下さい。図書館では学生の意見、要望を直接お聞きする「利用者懇談会」を今年度から開催しています。そういう場などでお話いただければ幸いです。

なお、蔵本分館に置く図書については、蔵本分館図書選定委員会を通じて各研究室に選書をお願いすると共に、学生希望図書の申込を受けて図書を購入しています。可能な限り重複を避けて、蔵書の充実を目指しています。ご希望の図書がありましたら、学生希望図書として申込をお願いします。